

第 18 回日本外来小児科学会 予防接種委員会 議事録

日 時 2015 年 11 月 3 日 (火) 12 時 00 分～15 時 00 分
場 所 ホテル新大阪 東ロステーションビル
出席者 岡藤隆夫、落合 仁、田原卓浩、寺田喜平、中村 豊、宮崎千明、牟田広実、
横田俊一郎、吉川哲史、藤岡雅司、永井崇雄 (11 名)
欠席者 太田文夫、武内 一、宮田章子、渡辺 博、 (4 名)

[報告・協議事項]

1. 第 27 回年次集会進捗状況 (永井)

春季カンファレンス：4 月 3 日開催、テーマは発達障害
年次集会

・ 特別講演：

山西功一氏『突発性発疹ウイルスの発見から、新しいワクチンの研究開発まで
(仮題)』

喜田宏氏『新型よりも季節性！毎年のインフルエンザ対策のツボ』

・ 教育講演：

中山哲夫氏『ワクチンの接種方法、接種部位により接種局所で何が起こり、免疫
応答にはどういう影響があるのか？』

・ 市民公開講座：

アグネス・チャン氏『みんな地球に生きるひと～世界の子どもにワクチンを～』

・ パネルディスカッション：テーマはインフルエンザ

・ 当委員会主催のシンポジウム：タイトルは『ワクチン新世紀』、日時は 8 月 28 日 (日) 午前 9 時～11 時半を予定、座長は未定

1) 混合ワクチンの今後の展開：寺田委員

2) ムンプスワクチンの定期接種化に向けて：牟田委員

3) 水痘ワクチンの有効性の検討：中村委員

4) 水痘ワクチン定期接種後の問題：吉川委員

5) 定期接種後の HB ワクチンの問題：藤澤卓爾氏

・ 当委員会のワークショップ：

『小学生・中学生に予防接種を知ってもらおう！PART3』リーダーは落合委員、
太田委員、乾浩明氏

・ 観音寺阪大微研見学ツアー：8 月 27 日 (土) 13 時出発

2. ムンプスワクチンによる無菌性髄膜炎発症の年齢別リスクについて (牟田)

・ Vaccine 誌に掲載が決定

・ 査読者から 2 歳までは母体免疫があるのでワクチン効果が弱いのではないかとの質

問があった；不顕性感染が多い年齢ということではないか

- ・ 髄膜炎が男児に多い理由は不明
3. 水痘ワクチンの有効性調査について（中村）
 - ・ 解析対象 1062 例、1 回接種の有効率 49%
 - ・ 兄弟例における緊急接種の有効性の有意差なし
 - ・ 2 回接種後の罹患例あり、有効率は低かった
 - ・ 軽症化の検討をしていないため、タイトルの「有効性」を「感染率」に修正する
 4. 学童期からの予防接種教育の教材作りについて（落合）
年次集会（仙台、2015 年）の総括
 - ・ 学校の教師に対する啓蒙活動が必要
 - ・ 園・学校保健勉強会との連携を検討
 - ・ 教材を用いた啓蒙活動の効果について研究を行う予定
 - ・ 資金については今後の検討課題
 5. 日本小児科学会予防接種・感染対策委員会報告（宮崎）
 - ・ 医療者向けの病原体別母子感染マニュアルを作成中
 - ・ 小児に対する筋肉内接種法の提言・見解をホームページ上に公開中
 - ・ 標準期間から外れた予防接種について対策マニュアルを添付文書と齟齬がないよう作成中
 - ・ エンテロウイルス D68 については厚生労働省が日本小児神経学会を通じて全国調査を実施中
 6. 厚生科学審議会予防接種ワクチン分科会（宮崎）
 - ・ 10 価肺炎球菌ワクチン（シンフロリックス）の定期化について検討
 7. 日本小児科医会予防接種委員会、リスクマネジメント委員会報告（横田）
 - ・ 特になし
 8. 神奈川県医師会予防接種研究報告（横田）
 - ・ 水痘ワクチンの接種対象者を任意で 1 回接種した者を含めて対象とする要望を神奈川県に提出した
 9. 日本小児科医会報告（藤岡）
 - ・ B 型肝炎の定期接種対象者を 2 歳まで拡大するよう要望書を提出した

10. 今後のワークショップのテーマ

- ・ 助産師とワクチンをテーマにしてはどうか（田原）
- ・ 助産師へのアプローチは今後の検討課題

11. 日本外来小児科学会会員のロタウイルスワクチン接種法に関する調査（牟田）

- ・ テーマ：ワクチンの飲ませ方の工夫
- ・ 調査方法：質問紙を用いた調査（Web or 郵送 or FAX）
- ・ 調査項目について検討

次回開催予定：2016年5月以降の開催を目途にメーリングリストで調整する